



【学校教育目標】 夢をえがき 計画を立て 行動する 児童の育成

家庭と学校の絆

月桂樹



令和8年度7月号
戸田市立新曾小学校
Tel 048-442-2774

非認知能力の育成について

校長 筒井 陽子

6月20日(土)の学校公開には、たくさんの保護者の皆様に御来校いただき、ありがとうございました。2・3時間目の授業参観では、生き生きと授業に臨む子供たちの姿を御覧いただきました。4時間目の引き渡し訓練も保護者の皆様の御協力により、安全かつ迅速に行うことができました。

また、同日開催していた学校運営協議会でも、1年生やたけのこ学級で学習している子供たちの様子などを参観していただきました。委員の皆様には、本校の教育活動について御理解いただいたうえで、いろいろな視点から感想や御意見を伺うことができました。

さて、本校では、学校教育目標「夢をえがき 計画をたて 行動する 児童の育成」の具現化を目指し、教育活動に取り組んでいます。

児童一人一人が自分の将来の夢に向け、未来を切り拓いていくためには、知識・技能などの習得とともに、最後までがんばる力、人と協力する力、相手の良さを認める力などの非認知能力(テストの点数のように数値化できない内面的なスキル)を育成していくことも重要となります。

本校では、この非認知能力をやり抜く力(NIIZO GRIT)と捉えています。このNIIZO GRITを育成するため、本校の教育活動の中に、セサミストリート・カリキュラムやリーダー・イン・ミープログラム、幼保小架け橋プログラムなどのいくつかのプログラムを位置づけ取り組んでいます。

特に、幼保小架け橋プログラムは、今年度から本格的に実施しているものです。新曾地区の保育園と連携し、「遊びから学びへ～主体性を育む」をテーマに取り組んでいます。保育園の年長児の「やる気」をそのまま小学校の1年生へと引き継げるようにしていきます。1・2年生の生活科などの学習を中心に、保育園と連携しながら取り組んでいます。

